



TOYODA GOSEI

News Release

2024年4月2日

## 高圧水素タンクが船舶に採用 ～各種モビリティでの水素利用に向けて～

豊田合成株式会社(本社:愛知県清須市、社長 兼 CEO:齋藤克巳)が生産する高圧水素タンクが、水素エネルギーなどで航行する国内初の旅客船<sup>\*</sup>に採用されました。

この水素タンクは、燃料電池車のMIRAI向けに、当社とトヨタ自動車株式会社が開発した水素貯蔵技術を活用しており、トラックなどの商用車を中心に搭載が進んでいる大型タイプです。より多くの水素を効率的かつ便利に貯蔵・移送できるよう、大型タンクを複数本組み合わせた水素貯蔵モジュールをトヨタ自動車が開発し、このたび商船三井グループなどが出資する株式会社MOTENA-Seaの旅客船に搭載されました。

水素利用は、自動車をはじめバイクや船、鉄道などのモビリティ全般で期待されています。当社は、各種モビリティでの水素搭載ニーズに応じたタンクおよびモジュールの提供を通じて、今後も水素社会の実現に貢献していきます。

<sup>\*</sup> 水素燃料電池とバイオディーゼル燃料発電機の両方を搭載した旅客船「HANARIA」。株式会社 MOTENA-Sea が 2024 年 4 月に営業開始。

大型高圧水素タンク



水素タンクが搭載された旅客船「HANARIA」



(写真: MOTENA-Sea 社 HP から引用)

### 水素社会の実現に向けた、水素タンク適用拡大のイメージ

